



今最もエコロジカルな乗り物といえば電動スクーター。日本の技術力の独壇場かと思われていた市場に乗り込んできたのはアメリカ製の“eGO”というモデルだ。アメリカらしい、大きなものがえらい！敵な発想が生かされたのか定かではないが、電動スクーターの中では大柄で乗りやすい。今回は日本仕様車の eGO2-J model を紹介！

電動スクーターといえば、コンパクトで取り回しやすくして経済的、というのが多くの人が描くイメージ。しかし、この **eGO2-J** はデカイ。重心はかなり低めに設定されており、取り回しには少々部が悪いところもある。ところが、ひとたび走り出せば、驚くことなけれ快適な電動クルーザーとなるのだ。電動クルーザーと称したのはそのポジション。カッコこそ自転車然としているが、シートとハンドルの位置関係や足の置きやすいフロア形状などはスクーターそのもの。更にゆったりめの姿勢が取れるので、出足のよい加速感と相まって快適ともいえる走行性能だ。シートも高さを調節できて便利。

さらに前輪にはディスクブレーキを採用しており、制動力も安心の内容だ。ディスクをワイヤーで操作する珍しいタイプ。後輪はマウンテンバイクなどによく使われているVブレーキシステムなので、自転車パーツからの流用なのかも。動力にはバッテリーエネルギーを利用した電動モーターを採用している。後輪にはベルトを介してドライブするので、静かでパワフルさの両立といったところ。また、走行中にスロットルをオフにすると自動制御でブレーキが作動、回生エネルギーをバッテリーに充電するというカシコサも秘めている。さらに下り坂ではモーターブレーキが作用するので、安全性もバッチリというワケ。走ることに関しては実に充実しており、クルージング性能に長けているのだ。どちらかといえば遊びのイメージだが、制動力の高さを考えると女性には受けそうである。



さらに GO FAST/GO FAR の 2 モードを採用しているので、体重 68 k g の人がフラットな路面を走行した場合は GO FAST モードの最高速度は 37Km/h。GO FAR モードの充電満タン状態からの航続距離は約 40km にもなる。このモード切替はイグニッションの操作で行う。

ごく低重心に造られたシャシーは航空機用 T6000 アルミを採用。12V34Ah のバッテリー（2 個）が搭載されている。惜しむらくはバッテリーを外して持ち運べないこと。充電器も車体に内蔵しており、付属のコードを伸ばしての充電となる。

オプションパーツも多彩だが、フロントやリアのバスケットはもちろん、トレーラーまであるとはビックリだ。

